

ASR 3000 / 4000 アクセサリ

電源装置

PacketFrontには2種類の電源装置があります。第1のタイプは標準型で、通常ブロードバンドルータのASR 4000シリーズと併用されます。もう一方の電源装置はより強力なタイプで、通常VDSLルータのASR 3000シリーズに使用され、またASR 4000の耐用期間拡張型電源装置として使用することもできます。PSU-80Wは標準型110-240V AC入力と12V出力の80ワット電源装置です。それは意図されない中断を阻止するASRへの安全コネクタを特徴としています。標準型PSU-50Wとの唯一の差異は効力で、論理的には50ワットになります。標準型PSU-50Wはまた、各特定市場に110-240V AC本線ケーブルを配送します。

ファンキット

通気がよくないところでは、ASR 4000に外部ファンを装備することができます。ファンキットの使用により、確実に、ASR 4000の周囲に十分な気流が循環し、適正に冷却されます。ファンキットはまた、ASR 4000の温度範囲拡張のためにも使用できます。ファンには、個別のファンが4つ含まれており、個々に監視されて不具合が臨界状態になる前に検出できるようになっています。ファンキットは外部に取り付けられているため、サービスを遮断せずに交換が可能です。

コンソールキット

ASR 3000と4000シリーズのルータは、RJ-45コネクタのシリアルコンソールポートを特徴としています。このポートを標準型9ピンD-サブシリアルポートに接続するには、コンソールキットが必要です。コンソールキットはベンダの大多数が使用する業界標準のピンアウトに基づいています。

壁取り付け用金具

ASR 3000 / 4000がキャビネット外部に取り付けられる場合は、専用の壁取り付けキットを利用します。このキットの3ポイントは壁から適正な間隔を取ってASRを安全に固定し、自己対流のための十分な通気を確保します。

縦型取り付けキット

ASR 3000と4000シリーズのルータは縦に取り付けるように設計されています。これを標準型19インチラックに取り付けるためには、縦型取り付けキットを使用します。これにより、高さ19インチの装置をASRの上下に標準型の1ユニットのように取り付け、隣り合わせに5ユニットを配置することができます。5つのASRを取り付ける際は、ファンキットを2つ、ポジション2と4に取り付けることが推奨されています。

ラック取り付け用金具

取り付け用金具は、ASR 3000 / 4000シリーズのブロードバンドルータを19インチラックまたはPacketFront縦型取り付けキットに取り付けるのに使用されます。

ドキュメンテーション

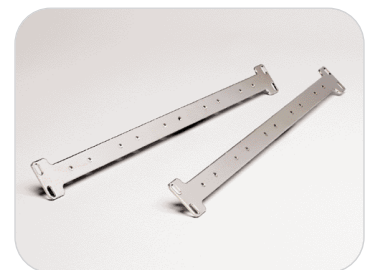
PacketFrontには、ASR 3000と4000シリーズ用とBECSTM用の完全なマニュアルがあります。マニュアルには、取り付け方法や物理的要件からブートロードおよびiBOSオペレーティングシステムに至るまですべてがカバーされており、構成例や命令基準値も付いています。BECSTM用ドキュメンテーションは2部構成になっており、第1部はネットワーク所有者とオペレータ用、第2部はサービスプロバイダ用です。マニュアル一式は、PacketFrontシステムの納入の際同梱されており、新機能リリースについては、マニュアルあるいは完全なキットを注文することができます。



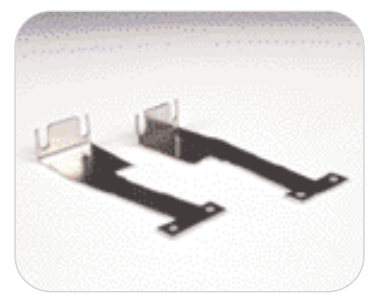
電源装置



壁取り付け用金具



縦型取り付けキット



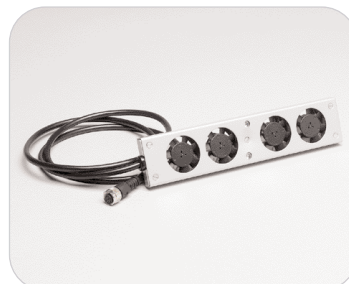
ラック取り付け用金具



ドキュメンテーション



コンソールキット



ファンキット



小型フォームファクタ・プラグ可能モジュール (SEP)

PacketFront はショートリーチの多モード 850nm、ミディアムリーチの単一モード 1310nm、およびロングリーチの単一モード 1550nm という 3 つの異なるモデルの SFP モジュールを提供します。これは光ファイバを使って 0.5km から 80km 以上の範囲を網羅します。すべてのユニットは IEEE ギガビットの Ethernet 基準

802.3 に準拠します。PacketFront の iBOS オペレーティングシステムによって電源を供給され、SFP は多数の有用な診断ルーチンおよび測定を特徴とします。それにより、例えば送受信機の送信された光強度や、受信された光強度、レーザーバイアスや温度などのリアルタイムの監視が可能になります。すべての送受信機には、LC 光コネクタがあります。送受信機は MSA 2 / ワイヤシリアル通信プロトコルをサポートしますが、それにより SFP シリアル ID を介して送受信機的能力や標準インタフェース、およびユニークな増強されたデジタル診断監視インタフェースを記述する識別情報へのアクセスが可能になります。また、特別な作動パラメータが正常域外にある場合、エンドユーザに警告を発するアラームや警告フラッグによる高性能システムの指定も行います。

汎用 SFP モジュール特性：

- ホットプラグ可能
- デジタル診断機能内蔵
- Duplex LC コネクタ
- 超低度のジッタ (揺れ)
- 低 EMI 用金属囲い
- 低ワット損

製品モデル (SFP)

- SPF-8519-7D-PAC**
1000BASESX 850 nm MM SFP
- SPF-1319-7D-PAC**
1000BASEFX 1310 nm SM SFP
- SPF-1521-7D-PAC**
1000BASEZX 1550 nm SM SFP

技術情報 (SFP)

SFP-8519-7D-PAC	最小	通常	最大	単位
送信出力光強度：50 または 62.5 MMF	-9.5		-4	dBm
光波長	830		860	nm
送信機ジッタ		40		ps
受信機平均感度		-21	-18	dBm
受信機ジッタ		60		ps
動作時温度	-10		85	°C
50/125mm MMF 上の最大サポートファイバ長			550	m
62.5/125mm MMF 上の最大サポートファイバ長			300	m

SFP-1319-7D-PAC	最小	通常	最大	単位
Transmit Output optical pwr：9/125 SMF	-9.5		-3	dBm
光波長	1275		1350	nm
送信機ジッタ		60		ps
受信機平均感度		-25	-20.5	dBm
受信機ジッタ		60		ps
動作時温度	-10		70	°C
リンクバジェット		11		dBm

SFP-1521-7D-PAC	最小	通常	最大	単位
Transmit Output optical pwr：9/125 SMF	-5		0	dBm
光波長	1530		1565	nm
送信機ジッタ		0.1		UI
受信機平均感度			-22	dBm
動作時温度	-10		70	°C
リンクバジェット		17		dBm

機能	エージェンシー	標準	認証番号
レーザ安全性 (目)	FDA/CDRH	FDA 21(J) CFR	9210176
レーザ安全性 (目)	TÜV	EN 60950	R9772230.07
		EN 60825-1	
		EN 60825-2	
電氣的安全性	UL/CSA	CLASS 3862.07	CSA 1034405
		CLASS 3862.87	



詳細については PacketFront までお問い合わせください。電話：+46(0)8-709 82 00
 ファックス：46(0)8-709 82 01 住所：Instrumentvägen 45, 126 53 Hägersten, Sweden
 電子メール：info@packetfront.com www.packetfront.com

PacketFront Sweden AB、無断転載を禁ず。BECS™ は登録商標です。その他のすべての登録商標、商標およびサービスマークはそれぞれの所有者に帰属しています。通知なく仕様が変更になる場合があります。